八戸工業大学 同窓会報

HIT Alumni Association Journal

第２０号
８月発行

八戸工業大学
同窓会本部事務局
TEL:0178-25-8027
FAX:0178-25-3827

印刷・編集 株式会社同窓会事務局

盛夏の候、同窓生の皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

福士新会長の下、新体制にて２年目を迎えました。今後も会員の皆様方と共に同窓会の更なる発展に努めてまいりますのでご協力賜わりたくお願い申し上げます。

さて、本年も下記の通り「八戸工業大学同窓生の集う会」および各支部総会を開催いたします。

多くの方々に集う会にご参加いただき、先生方や同級生・先輩後輩方々と交流・親睦を大いに深めていただければと考えております。

皆様お誘い合わせのうえ是非ご参加くださるよう心よりお待ちしております。

第14回「八戸工業大学同窓生の集う会」

日時：平成26年10月4日（土）17：30～
場所：八戸グランドホテル　八戸市番町14　TEL 0178-46-1234
会　費：5,000円
申込先：dosokai@hi-tech.ac.jp（同窓会本部事務局宛）
締　切：9月29日（月）
参加申し込み
電子メールに「参加会場、氏名、卒業学科、卒業年度、連絡先電話番号（ご存知の方は学籍番号もお願いします）を記載して同窓会本部事務局（dosokai@hi-tech.ac.jp）、またはそれぞれの支部申込先へお申し込みください。
同封のフリーファックス用紙でもお申込みいただけます。

関東支部総会のご案内

日　時：平成26年9月6日（土）17:00～
場　所：アルカディア市ヶ谷
東京都千代田区九段北4-2-25
TEL 03-3261-9921
会　費：6,000円（H23～H25年度卒は割引あり）
申込先：dousoukai_kanto@yahoo.co.jp
（同窓会関東支部事務局長　平澤　亨宛）

秋田支部総会のご案内

日　時：平成26年10月25日（土）18:30～
場　所：協働大町ビル　秋田市大町三丁目2－44
TEL 018－863－2111
会　費：5,000円
申込先：m－kikuchi@akita－sousin.or.jp
（秋田支部幹事長　菊地雅敏宛）
締　切：平成26年10月15日（水）

東北支部総会のご案内

日　時：平成26年9月20日（土）18：00～
場　所：レオパレス仙台　地下１階ホール
仙台市宮城野区榴岡4－6－28
TEL 022-706-0001
会　費：5,000円
申込先：s.narasaka@eco-1s.co.jp
（同窓会東北支部事務局宛）
締　切：平成26年9月13日（土）

北海道支部道南分会総会のご案内

日　時：平成26年11月8日（土）18:30～
詳細が決定次第同窓会ＨＰでお知らせします。

北海道支部道東分会総会のご案内

日　時：平成27年3月予定
詳細が決定次第同窓会報HPでお知らせします

※各同窓会ともに大学から多数の教職員が参加する予定です。
詳しくは同窓会ＨＰ（http://alumni.hi-tech.ac.jp/）にてご確認ください。
未定情報や補足情報は随時大学同窓会ＨＰでお知らせします。
※各支部同窓会への参加申し込みは、同窓会本部事務局（dosokai@hi-tech.ac.jp）でも受け付けます。

HAMS（メールマガジン）会員登録のご案内

登録手順1　仮登録
普段お使いの携帯電話もしくはパソコンから、下記アドレス宛に空メールを送信します。携帯電話をご利用の場合、ＱＲコードからのアクセスが可能です。
hams@a1umni.hi-tech.ac.jp

登録手順2　本登録
空メールを送信した携帯電話もしくはパソコンに、自動で返信メールが届きます。返信メールの本文中にあるＵＲＬにアクセスすることで本登録が完了します。

平成25年度八戸工業大学同窓会事業報告及び収支決算報告

平成25年4月1日～平成26年3月31日

事業報告

<本部>

月　日	事業内容
平成25年 5月25日（土）	臨時理事会
平成25年 6月15日（土）	定例代議員会
平成25年 8月10日（土）	工大二高納涼パーティー
平成25年 8月31日（土）	大学ＯＢ対抗ゴルフ大会
平成25年 9月 7日（土）	八戸大学会交流会
平成25年10月 5日（土）	理事会・第13回同窓生の集う会
平成25年11月25日（月）	工大グループ同窓会連絡協議会
平成26年 3月20日（木）	学位記授与式

＜支部･分会＞

月　日	事業内容
平成25年 4月30日（火）	秋田支部役員会
平成25年 5月11日（土）	関東支部定期幹事会
平成25年 5月24日（金）	（学匠会）第1回幹事会
平成25年 7月13日（金）	北海道支部総会
平成25年 7月19日（金）	（土木建築）ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ・卒業生講演
平成25年 9月 7日（土）	関東支部定期幹事会
平成25年 9月14日（土）	関東支部総会
平成25年10月 5日（土）	土木建築同窓会懇親会
平成25年10月12日（土）	（うみねこ会）役員会・幹事会
平成25年10月26日（土）	秋田支部総会
平成25年11月 8日（金）	水交会役員会・懇親会
平成25年11月30日（土）	関東支部定期幹事会
平成25年12月14日（土）	北海道支部道南分会総会
平成26年 1月31日（金）	うみねこ会幹事会
平成26年 2月13日（木）	秋田支部役員会
平成26年 3月22日（土）	北海道支部道東分会総会

決算報告

一般会計

収入の部

項　目	本年度予算額	決算額	差　異
会　費	6,000,000	6,220,000	220,000
会報協力費	600,000	432,870	△ 167,130
広告収入	150,000	90,000	△ 60,000
雑　収　入	40,000	2,350	△37,650
前年度繰越金	10,342,454	10,342,454	0
計	17,132,454	17,087,674	△44,780

支出の部

項　目	本年度予算額	決算額	差　異
会　議　費	200,000	125,285	△74,715
旅費交通費	800,000	1,088,140	288,140
集う会経費	300,000	118,140	△181,193
印　刷　費	2,600,000	2,789,586	189,586
通　信　費	100,000	31,877	△68,123
支部関係	1,350,000	1,131,712	△218,288
運営費関係	10,000	6,877	△3,123
分会助成費関係	1,200,000	344,957	△855,043
業務委託費	200,000	63,000	△137,000
積　立　金	0	0	0
慶弔費関係	200,000	261,415	61,415
予　備　費	10,172,454	0	△10,172,454
計	17,132,454	5,961,656	△11,170,798

収入総計（決算額）－支出総計（決算額）＝次年度繰越金 11, 126, 018 円

特別会計

収入の部

項　目	本年度予算額	決算額	差　異
当期積立金	0	0	0
前年度繰越金	19,000,000	19,000,000	0
計	19,000,000	19,000,000	0

平成25年度監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。

平成26年4月2日
監事　左舘　直樹
監事　夏堀　大司

平成26年度●定例代議員会報告

八戸工業大学同窓会定例代議員会が六月二十八日（土）十八時から八戸グランドホテルで開催されました。理事十二名、代議員十六名が出席し、昨年度の事業報告および今年度の予算、事業計画について話し合われました。議案としては次の通りです。

議案　第一号議案　役員交代に関する件
　　第二号議案　平成二十五年度同窓会事業報告及び決算に関する件
　　第三号議案　平成二十六年度同窓会事業計画及び予算に関する件
　　第四号議案　第十四回「八戸工業大学同窓生の集う会」について

この場で、本年度の全学同窓生の集う会を十月四日（土）八戸グランドホテルで開催することが了承されました。また昨今の少子化の影響を受け、大学入学者も減少していることから、同窓会として大学存続のために協力できることを検討していき、大学および同窓会の発展につながる活動をしていくために、役員が今以上に連絡を取り合って活動方針を明確に作り上げていくことが確認されました。

【役員名簿】

役職	氏名	卒業年度	卒業学科
会長	福士　信雄	昭和51年度	電気
副会長	齊藤　克治	平成14年度	システム情報
副会長（同窓教職員の会）	淺利　能之	昭和51年度	電気
理事	下舘　政美	昭和50年度	機械
理事	岩本　明佳	昭和57年度	電気
理事	高橋　和雄	昭和55年度	建築
理事	浜部　弘毅	昭和60年度	エネルギー
理事	掛端　英二	平成2年度	エネルギー
理事	榎本　匡将	平成17年度	システム情報
理事	石橋　宣貴	平成20年度	感性デザイン
理事	住吉　貴恵	平成21年度	感性デザイン
理事（支部）	奈良坂　進	昭和50年度	機械
理事（支部）	西岡　邦夫	昭和54年度	産業機械
理事（支部）	工藤　嘉範	昭和54年度	土木
理事（支部）	古舘　仁	平成10年度	機械
監事	左舘　直樹	昭和57年度	機械
監事	夏堀　大司	昭和58年度	土木

平成26年度　第12回北海道支部同窓会

『第十二回八戸工業大学同窓会　北海道支部総会』
～第十二回目を迎えた八戸工業大学同窓会～

発足より十二年目を迎えた北海道支部の総会（「同窓生の集う会」）が、平成二十六年七月十二日（土）ANAホリディ・イン札幌すすきので開催され、同窓生・同窓会本部役員・支部役員・本学教職員の方々の心温まるご協力のもと、総勢四十八名様にご臨席いただきました。

時は、台風八号が猛威を振るい日本列島各地で被害の情報が取り上げられている最中で、もはや北海道直撃は避けられないと思っておりましたが、幸いにも参加者各位の日頃の行いが良いせいか、台風は一足早く過ぎ去り、無事開催することが出来ましたこと、厚く御礼申し上げます。

「同窓生の集う会」は、終始和やかな雰囲気で教職員の方々を交えながら同期・先輩・後輩、他科であっても、同じ学び舎を卒業した私達にはとても懐かしく、又大学の最新ニュースを知る絶好の機会でもありました。

余興では、当支部永田相談役の迷司会によりトーナメント方式にて［社会クイズ］を行い、会場のムードは最高潮を迎え、野田教授が強敵を制し、見事優勝なされました。

同窓会は、同・異業種等様々な方々の集まりの場でもあり、最近の人間関係の希薄な世の中にあって、人と人との繋がり、心の結びつきの大切さが見直される良い機会だと考えており、この数少ない機会を、大切に育てていきたいと思っております。

尚、来年の北海道支部総会開催は、七月下旬を予定しております。

更にパワーアップした企画で、全国より多くの皆様のお越しを役員一同お待ちしておりますので、是非一人でも多くの友人、知人にお声掛けて頂き、参加頂ければ光栄です。

結びに、同窓生皆様並びに本学教職員の皆様のご活躍とご健勝、更に同窓会が多くの同窓生にご参加頂ける交流の場として、今後、益々発展することを祈念し御礼のご挨拶とさせていただきます。

八戸工業大学同窓会
北海道支部
支部長　西岡邦夫

蒼峰会 活動報告

「近況報告」

柴田女子高等学校　一戸　剛史

会員の皆様にはご活躍のことと存じます。今回、近況報告として原稿の依頼を頂戴しました。非常に光栄であり、同時に恐縮しております。私は、九十八年にエネルギー工学科へ入学し、当時は教師という将来像は全くなく、学生であったようなものが、教職課程を履修し始めた頃から、戸工業大学は「良きの技術者、三年の教育理念でもあります。そして何よりも尊敬できる素晴らしい教授陣や研究設備もそろっており、自分自身のあり方について考えさせられる時間でもあります。一つ一つの学生がアルバイトによる疲労等で欠席をすることのないよう、中力が欠けている一日に稼げる金額は、大学における一コマは同額以上の価値があるはずです。「諸君!!諸君らの一日の平均時給は五千円から一万円位であろう。」と話されたことを記憶しています。お金の浪費である。」と話されたことを聞いた私は、最低賃金の額を掲げ、その教育力は、戸工業大学で成果周知の通り、大学生活は、三年の頃から生まれる「八戸工業大学を巣立ってからの十年間は福島県伊達市の聖光学院高等学校において機械科の教諭と柔道部顧問として勤めました。高校は普通科卒、大学は工学系の専攻科修了という学歴でありながら、機械システム工学科卒であり、機械工学の実習器具の取扱経験はゼロでとなりました。尚且つ座学も苦労したことを覚えていまめの二年間は、授業だけでなく、初めの三年ほどは生徒指導にまで接することに感謝しています。八戸工業大学の先生方は同窓会の交流場を設けて、県内の教職員の会を開催してくださったこと、ご協力がありがとうございました。そして、八戸工業大学へ進学する生徒も増えていまして、卒業生もたくさん出てきました。バブルの甲斐もあり無事に卒業し、八戸工業大学誇りに思えることであります。「入口と出口」の差を実感できる大学として自信をもって送り出すことができ、四年後はみんな立派な社会人となっていて、今年の四月からは弘前市の柴田女子高等学校において情報科の教諭として勤務しています。新たな環境で慣れない日々ではあるものの、八戸工業大学の教育理念から生まれる「良き技術者」をモットーにモノづくりにおいて良き人格の形成を目標としています。「教育は出会いであり、きっかけ作りとなりたい」という言葉のごとく、まさに研究や学会発表、そして学位論文作成と合わせて、この頃充実した日々であったことを懐かしく思う今日この頃です。そこで一言「夢は

語るべし、意志あれば挑戦すべし」。

「人とのつながり」

株式会社シーエフ　千坂　博和

五月中旬、原稿依頼の連絡が入り、何を書こうかと十八年前の記憶が少しずつ蘇ってきました。

八戸工業大学へ希望と夢も持ち入学式を迎えた十八年前の春、まだ肌寒い中で行われたと事を今も鮮明に覚えています。入学当初行われたオリエンテーリングでは、ホテルの駐車場でプラスチックのバットとボールを使い、野球を行った同期とはFacebookを通じて今でも友人として交流をしています。これから仕事での繋がりも増えると事を期待したいと思います。

私達の大学生活は、人との繋がりが本当に大きかったように思えます。学生の交流はもとより、社会人とのテニスサークルに所属し、地域の大会に参加することが出来ました。

その繋がりが私の方との交流もすることとなり支えとなっていました。

八戸は私にとって『第二の故郷』と言える地になりました。そして八戸工業大学は『私を成長させてくれた故郷』となりました。今年の夏には第二の故郷に現在私は地元宮城にて、包装資材の仕事を中心に株式会社シーエフという会社を父と共に経営し、プラスチックダンボール（プラダン）で、製品を輸送する通い箱、仕切り材を加工・販売を行っております。

十年前までは、弱電関係の企業をメインの顧客とし、製品の販売を行ってきましたが、ここ数年は、弱電関係の企業の海外進出が進み、通い箱の需要も少なくなってきました。近頃は自動車産業の進出が相次ぎ、弊社の顧客も自動車産業へスライドしつつあります。

自動車部品は、小さい部品から大きい部品まで多種多様あり、複雑な形状かつ輸送効率をもふまえた設計が必要になってきます。弊社は小さい会社ではあります。時代の流れに取り残されぬようアンテナを張りめぐらせ、時代に合った製品作りが出来るよう努力していきたいと思います。皆様の中、包装資材でお悩みがありましたら、どうぞご連絡下さい。少しでもお役に立てるようがんばります。

水交会活動報告

■新会長挨拶

岩本 明佳 さん
昭和五十八年　電気工学科卒
（佐藤研究室）
現在：㈱岩本電機　代表取締役社長

平成二十五年十一月八日開催された水交会総会で会長に就任されました岩本明佳さんのご挨拶を掲載させて頂きます。

御挨拶

初めて会長を引き受けるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私は昭和五十八年に電気工学科を卒業させて頂きました。当時は、福島工業高等専門学校の同窓会（野菜会）に入会させて頂き、菅野会長、厚く御礼申し上げます。

私が卒業してから、ものづくり産業の中心を担う電気系の技術者として、ご縁を頂いた方々に恵まれ、ご指導を賜りながら、今日まで仕事をさせて頂いております。

今、私の仕事の中心は、自動車関連の電子部品の製造です。ご縁を頂いた方々に恵まれ、ご指導を賜りながら、今日まで仕事をさせて頂いております。

今、私の仕事の中心は、自動車関連の電子部品の製造です。

今年の会長就任のご挨拶を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

■OB・OGだより

大前 広道 さん
平成十八年　電子知能システム学科卒
（川又研究室）
現在：美和電気工業㈱

そんな大学生活を過ごしました。当時の誓いを覚えていますか？内容は忘れましたが、確かに突入して十八歳だけ大人になってしまいました。（笑）

■同窓生としての抱負

高橋 大介 さん
平成二十六年　電気電子システム学科卒
（佐々木・藤田研究室）
就職先：JFEスチール株式会社

■学科近況報告

根城 安伯 先生
大学院工学研究科電子電気・情報工学専攻主任
工学部電気電子システム学科長

■研究室探訪　石山研究室

■平成26年度水交会総会開催のご案内

平成２６年度水交会総会を次の通り開催します。また、総会終了後には全学卒業生を対象とした「同窓生の集う会」が開催されます。水交会の皆様におかれましては、この機会にいずれの会もご参加頂ければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

○日時・・・平成 26 年 10 月 4 日（土）
16:30 ～ 17:15
○場所・・・八戸グランドホテル
（八戸市番町 14　TEL.0178-46-1234）
※同日同ホテル内で 17:30 から第１４回八戸工業大学同窓生の集う会が開催されます。
○総会会費・・・無料
※同窓生の集う会の会費は別
「水交会総会」並びに「同窓生の集う会」の申込方法・・・
①氏名、②卒業学科、③卒業年度、④水交会総会並びに同窓生の集う会の参加の有無を記載の上、9/２６（金）までにメールにてお申し込み下さい。
申込先・・dosokai-e@hi-tech.ac.jp
（水交会事務局）
○水交会 HP・・・
http://www.elec.hitech.ac.jp/Edoso/index.html

最適環境空間を最新の技術でお届け致します。
三宝電機株式会社
URL: http://www.seamec.co.jp
各種電気・計装制御・空調衛生・クリーンルーム設備等
総合設備の企画・設計・施工・メンテナンス
東京支店　〒105-0003 東京都港区西新橋3-8-3ランディック新橋ビル5F
TEL.03-5472-3311　FAX.03-5472-0085

民生機器・情報通信・産業機器・車載ワイヤーハーネス製造
株式会社 岩本電機
IWAMOTO Electronics Company.
代表取締役 岩本 明佳（昭和58年3月電気工学科卒）
〒028-7901 岩手県九戸郡洋野町種市 第13地割41番25
TEL 0194-65-3930　FAX 0194-65-3899
E-mail i.iwamoto@iwamotodenki.co.jp
HP http://www.iwamotodenki.co.jp/

土木建築工学科同窓会

■同窓会開催

二〇一三年十月五日、八戸工業大学同窓生の集う会を開催しました。八戸グランドホテルで行われた第二部（懇親会）では、拓北会（建築系）およびCivil会（土木系）の卒業生および教員など一五〇名が参加しました。

懇親会後には、拓北会、Civil会に土木建築工学科一期生の卒業に伴い新たに発足した土木建築工学科同窓会を加えた合同懇親会（二次会）が開催され、卒業生・教職員・大学院生など三十四名が参加し、盛況の内に終えることが出来ました。

今後は、拓北会・Civil会の両組織を一本化した土木建築工学科同窓会として、運営・活動を行っていきます。今後とも同窓会運営・活動へのご協力ご支援をお願い致します。

■土木建築工学科同窓会

平成二十五年度の主な活動

平成二十四年度（平成二十五年三月）土木建築工学科一期生の卒業に伴い、拓北会、Civil会の両組織を土木建築工学科同窓会として一本化し、運営・活動を行っています。

表1には平成二十五年度の主な活動をまとめました。恒例事業がほとんどですが、役員会はじめ会員各位の精力的な活動によって運営がなされ、また学科の諸活動においてもご尽力を頂いています。

現在の土木建築工学科では、「建築工学コース」、「社会デザインコース」、「土木工学コース」の三コースを設置し、その中では、課題発見・解決型学習、PBL、プレゼンテーションなどをはじめとする体験型学習を多く実施しています。これに伴い、同窓会会員の方々には非常勤講師をお願いするほか、現場見学会や卒業生講演会を開催するなど多くの場でご協力を頂いています。この場を借りて厚くお礼を申し上げます。今後とも学科の発展にご期待いただくとともに、引き続きご支援ご協力を頂ければ幸いです。

■大学院生紹介

（後藤忠平・大学院建築工学専攻博士前期課程二年・コンクリート工学研究室）

コンクリート構造物は、様々な劣化因子や環境作用により経年とともに劣化が生じます。コンクリートの表層部は、それら劣化因子の浸透を抑制し、内部鉄筋の腐食を保護する保護層としての役割を持っています。しかし、これまでの研究成果により、コンクリート表層部ではブリーディングに伴い、内部よりも粗な状態である脆弱層が形成されやすいことが明らかとなっています。さらに、コンクリート表層部の脆弱層の厚さは、部材厚さや部材高さによって異なることも明らかとなっています。これは、外部からの劣化因子の浸透性が高まり、構造物の早期劣化が懸念されるため、それら脆弱層の形成メカニズムを解明するとともに、その防止策や調査・検査方法の確立が求められています。

このようなことから、私は、修士課程特別研究において、「部材厚・部材高さの異なるコンクリート部材の脆弱層の形成と評価」をテーマとして、各種実験に取り組んでいます。従来のような供試体サイズだけでなく、実構造物を想定し、学内に部材厚さの異なる高さ一六〇〇㎜程度の鉄筋コンクリート壁を設置し、非破壊検査やコア供試体による性能試験等を実施しています。

これらの研究成果については適宜取りまとめを行い、建築学会など国内の関連学協会での研究発表の他、国際会議等への投稿・発表を予定しています。

表１：平成25年度の主な活動

通年	日建学院との提携事業	
通年	インターンシップの受入れ事業	
7月9日	現場見学	夏堀（5期卒，会長），佐藤（5期卒），大渡（22期卒）三氏の説明で砂防工事県場の見学を実施。大学院生2名，学部生8名，教職員2名参加。
7月19日	卒業生講演会	長利洋平氏（29期卒，（株）建築住宅センター勤務）を講師に，建築確認申請などの建築実務について講演頂いた。土木建築工学科 1・2 年生 69名出席。
10月5日	第13回「八戸工業大学同窓生の集う会」	会場：八戸グランドホテル。教職員・同窓生約150名出席。
同	土木建築工学科同窓会　懇親会	同窓生25名，土木建築工学科教職員6名，大学院生3名出席。
3月20日	学位記手交式役員派遣	土木建築工学科の学位記手交式に夏堀会長を派遣。

同窓会事務局から

環境建設と建築工学の統合に伴い、昨年度シビル会と拓北会が一本化し土木建築工学科同窓会となりました。

これに伴い同窓会事務局のE-mailアドレスが変更となりましたので12頁の同窓会事務局連絡先でご確認ください。

安田コレクション誕生

安田　勝寿

青森県立郷土館で開催された〝おもちゃ百科図鑑〟おもちゃ展に、コレクションを貸し出し好評のうちに六月に終了した。期間中七〇〇〇名を超える観客を動員し、マスコミも好意的に取材してくれたお陰で、子どもからお年寄りまでの幅広い層の方々が訪れてくれた。

コレクションを始めて二十四年になる。きっかけはと言うと、八戸工業大学の学生時代にさかのぼる。大学生時代の友人に、ミニカーを集めているマニアがいたのだ。たまたま彼の実家の宮古市に泊まりがけで遊びに行った際に、古びた駄菓子屋に連れていかれたのが始まりだった。

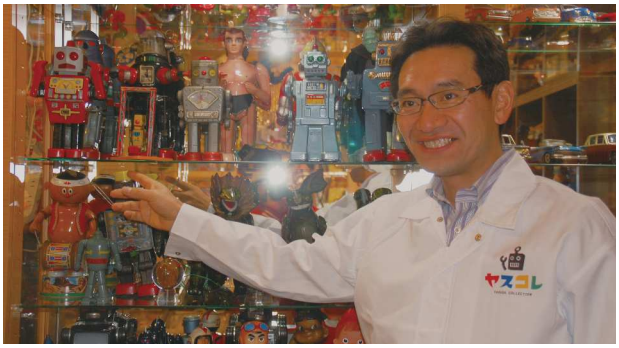
その駄菓子屋と出会うまでは、おもちゃなどに全く興味など無く、あまり気乗りがしないままに向かった記憶がある。しかし、古びた駄菓子屋の引き戸を引くと、そこには大量のおもちゃ群が、天井まで高く積まれていた。暗がりに目が慣れてくると、鮮やかな原色の箱絵が目に飛び込んできたのだ。そこには、昭和時代の幼少の頃、欲しくても買えなかった超合金などが積まれていた。

私は、タイムスリップしたかのような夢の空間で、夢中になって宝探しを始めていた。二時間ぐらいも探しただろうか？私は、第一号コレクションとなる、〝超合金ロボコン〟を抱きかかえていた。この記念すべき宮古旅行が転機となり、安田コレクションが誕生した瞬間だった。

その後も一切アクセルを緩めること無く、休みとなると東北中の古いおもちゃ屋巡りをし、コレクションを拡充していった。集めに集めたコレクションは、とうとう一万点を超えてしまった。

そうした中、平成十九年に県立郷土館で、〝おもちゃ博覧会を開催し、六六〇〇点に及ぶ膨大なコレクションが全国的に話題を呼んだ。これを機会に、中央方面からも様々なオファーが来るようになった。中でも驚いたのが、人気漫画家浦沢直樹原作の映画〝二十世紀少年〟への協力依頼だった。原作中、昭和四十年代の古いポスターやおもちゃが様々な場面で出てくるが、堤監督の希望で、原作に忠実に当時の本物を使いたいとのことだった。

全国四十名を超える業者や個人コレクターにリスト出しを頼んだところ、なんと私だけで八割を超えるコレクションを所有していることが判明。半信半疑なスッタフが八戸市に飛んできたことは言うまでもない。スタッフを安田おもちゃ館に案内したところ、おもちゃを見るなり大喜びして無心に写真撮影した光景が思い出される。



平成二十年より全三部作で公開された映画は大ヒットし、私のコレクションも大活躍した。たった一度の旅行でおもちゃに出会い、今では県立の施設でコレクション展示会を出来るまでになった。おもちゃを貸し出すと正直傷むが、おもちゃも喜んでいるような気がしている。そして、おもちゃとのかけがえのない出会いに感謝している。最後に、八戸工業大学の学生で本当に良かったと、付け加えておこう。

株式会社 大和エンジニアリング
有限会社 コクセイ工業
株式会社 西衡器製作所

学匠会　活動報告

近況報告
B科4期卒業生
川村　渉

同窓会報誌に寄稿させて頂くことになりました、B科卒業生の川村です。今回、近況報告ということで、今年の春で入社六年目を迎えた私が、報告させていただきます。

私は、東日本旅客鉄道株式会社へ入社し、現在は盛岡新幹線車両センターという職場で仕事をしています。盛岡新幹線車両センターは東北新幹線を走行する車両のメンテナンス職場として、「はやて」でお馴染みのE2系新幹線電車から、新型車両で緑色が鮮やかな「はやぶさ」いわゆるE5系、新たな「こまち」となったE6系の、車両検査・修繕を主な業務としています。

現在私は、E5系の交番検査という、一日かけて行う定期検査を担当しています。車両をメンテナンスする上で私は経験も浅く、まだまだ技術や知識を学んでいかなければならないのですが、後輩社員への実務教育も担当しています。その中で、正しい技術や知識を教える事の難しさや、教えるにあたって、私自身の知識や技術をより向上しなければならないことを実感している日々です。

しかし、今現在、ベテラン社員が続々と退職し、若手社員が増え、徐々に職場内が若返りしています。いつまでもベテラン社員に頼っているわけにはいかないので、少しでも多く技術や知識を受け継ぎ後輩へ継承すること、また私自身様々な面で成長していくことが課題ではないかと考えています。

私は在学中、体育会という体育系サークルの管理や、体育祭と呼ばれるスポーツ大会の主催を行う組織に所属しており、三年生の時には体育会会長を務めていました。その中で経験した、年齢関係なく仲間と一丸となって仕事をすること、チームワークの大切さというのは、今でも大いに役立っています。

新幹線の検査・修繕も同じで、その車両の大きさから、必ずしも一人で作業することはできず、若手・ベテランが一丸となり、より良いチームワークで業務を遂行する必要があります。

私が所属していた小比類巻研究室の仲間とは、小比類巻教授もまじえて卒業後も何度か一緒にお酒を呑むこともありました。小比類巻教授の下で特に苦楽を共にし、ちょっとやそっとのことじゃへこたれない精神を学んだ仲間なので、みんな立派に成長している様子を聞くと、とても勇気づけられますし、「小比類巻研究室の卒業生」として胸を張って日々の業務を全うすることができます。

学業はもちろんのこと、サークル、体育会、研究など大学生活で得たものは、すべて私の宝物です。

今後、職場のモットーである「すべての仕事はお客さま満足へ」を常に意識し、より故障の無い、快適な車両を提供していきますので、旅行・帰省の際にはぜひ新幹線をご利用して頂けたらと思います。

お世話になりました先生方、卒業生の皆様へ感謝し、以上、近況報告とさせて頂きます。ありがとうございました。

近況報告
P科9期卒業生
中館　洋一

同窓会報に寄稿の機会を頂きました、エネルギー工学科九期卒業生、中館です。「近況報告」の形で卒業後の自分を振り返らせて頂きます。

平成六年三月に卒業した頃は、楽しかった大学生活と裏腹に、バブル崩壊の足音が聞こえているときでしたが、理系大学は就職に強かったと記憶しております。

こういった中、私自身は公務員志望が強く、また、自身がやりたいことは、八工大生として学んだことを様々な分野で活かしたいと思っていたことから、職種も事務職を選択し、民間企業を受けずに、公務員試験を受験すべく、大学三年生の頃から受験対策の勉強を始めました。

しかし、これは大変な取組の始まりで、試験は一般知識の他、行政法や民法といった法律知識の勉強が必要なため、かなり苦戦しましたが、最終的に青森県職員としての採用通知が届いたときは、ほっと胸をなで下ろしました。

平成六年四月に新採用者として、県税事務所に配属されました。

ここでは、事業者の収益に応じて課税する事業税、土地や建物等の不動産を取得した際に課税される不動産取得税などを採用から八年間担当しました。

この税務の仕事では、所得税の確定申告や、住宅取得における不動産取得税の減額申請などの知識など、今後の生活に役立ちそうな様々な税金の知識が身についたほか、公務における税金の重みを実感することができました。

平成十四年四月からは、地域における産業振興を行う商工労働部に配属されました。

商工労働部では、県内中小企業や個人事業者等による商品づくりや技術開発、ビジネス支援を様々な手法で行っており、大学で培った知識が大きく役立っております。

担当業務も、製造業を始めとする地域企業の皆様の技術開発や商品開発、経営支援に関する様々な悩みや課題の解決支援の取組をメインとしながら、その他に、将来の産業人材の育成の取組にも従事し、青少年の科学創造性を育むための小中学生に対する科学体験教室や科学イベントの実施や県内少年少女発明クラブの活動支援、企業技術者や未就職者の技能修得を支援する職業能力開発校での勤務など様々なものがありました。

このように八工大で培った工学の基礎知識は、私のような事務職にとっても有用な知識となっており、現在の業務実施を支えてくれています。

現在は、商工労働部新産業創造課という部署で、特許や意匠、商標といった知的財産の活用による産業振興を担当しており、県内の知の拠点である八工大と青森県の連携強化に取り組むため、大学の社会連携学術推進室から様々な御支援をいただいております。

卒業後も、業務上、様々な先生や職員の方に大変お世話になっており、皆様方にお会いすると「元気？」「頑張ってる？」といった温かい言葉をかけてくれます。いつでも受け入れてくれる母校って、本当に良いなぁって思います。

皆様も機会があれば、母校を訪問してみてはいかがでしょうか？

以上、近況報告とさせていただきます。

株式会社ザックス
http://www.i-zax.co.jp
理化学機器・放射線関連製品・試薬・エアーフィルター等の販売
化学工場及び研究施設の運転・保守、計量証明・化学分析業務　等
八戸営業所　八戸市南類家3丁目1-21
Tel：0178-73-3620
事業所：東通村、六ヶ所村、大間、八戸
青森、弘前、北海道
Zero Associate X challenge
www.i-zax.com
株式会社ザックス

ちなみに、お知らせです。

青森県庁では県内事業者の皆様に、知的財産に関する相談先として、県庁内に「青森県知的財産支援センター」という相談窓口を開設しております。

このセンター内には、知的財産のエキスパートが窓口相談者として常駐しているほか、定期的に弁理士を配置しております。

相談は無料ですので、知的財産に関する御相談に、お気軽にご活用ください。

【電話番号】017-734-9417（直通）

訃　報

平成二十六年四月二十六日
エネルギー工学科元教授　江草龍男先生
が仙台市にてご逝去されました。
享年九十八歳でした。
謹んでお知らせ致します。

うみねこ会 活動報告

■学科ニュース①
松坂知行名誉教授講演会開催

五月十四日（水）、システム情報工学専門棟二階の講義室において、システム情報工学科の一、二年生を対象にキャリアデザイン講演会を開催しました。講演会は、研究所長や学科長などを歴任された松坂知行名誉教授をお招きし、「陸前高田市の一本松ものがたり」と題して行いました。松坂名誉教授は、奇跡の一本松にまつわる陸前高田市の歴史、被災した自身の体験、被災地の状況、支援活動などについて講演され、「先人の精神を継承しよう」、「過去の震災を記録しよう」、「ITを駆使した支援方法の構築力をつけよう」などのメッセージを伝えていました。学生達は、体験をもとにしたリアルな講演を熱心に聞いていました。

■学科ニュース②
新職員紹介 新山隆文（平成十六年度システム情報工学科卒）

今年度四月より事務職員として八戸工業大学に新採用されました。私はシステム情報工学科を平成十六年に卒業しました三期生卒業生です。結婚して苗字が変わり、旧姓は三浦です。卒業後は金融業、卸売業、情報通信業と様々な業種を経験してまいりました。

所属は就職課に決まり、最近まで法人営業や店舗での販売などをしてきましたので、企業に関することや就職活動における書類の提出等、学生の皆さんの就職活動のサポートをできればと思っております。これからまだまだ覚えることはたくさんありますが、一日でも早く順応していきたいです。母校で働けることを誇りでうれしく思っております。宜しくお願い致します。

■OB・OG近況報告
○音喜多 優一（平成二十四年度卒業 株式会社ジョイント・システムズ・サービス）

私は株式会社ジョイント・システムズ・サービスに入社しました。職種はシステムエンジニアです。主な業務内容は、サーバの構築、システム維持を行っております。入社して今年で二年目になりました。仕事については、まだまだ右も左も分からず、手探りで業務を行う日々を過ごしています。一日でも早く、一人前になれるよう、日々精進していきたいです。休日はドライブをしています。給料をためて購入した車なので、とても愛着があります。私は八戸出身のためか、海が恋しいときがあります。そのためドライブするときは海が見えるところに行き、リフレッシュしています。今後は様々なところに車で旅行してみたいです。

○西山 寿功（平成二十四年度卒業 三八五流通計算センター株式会社）

私は三八五流通計算センター株式会社に入社しました。入社してから早一年が過ぎ、昨年を振り返ると本当に慌しい一年だったと思います。一日の仕事として電話対応、流通各社のオンライン管理や委託開発などがあります。最初は電話対応やプログラムを読む練習ばかりでした。三ヶ月の研修期間を過ぎるとプログラムの修正や社内で使うプログラムの作成などを任せられるようになり、半年を過ぎると外部で使うプログラムの作成を任せられるようにもなりました。初めて自分で作ったプログラムが動くのを見たときは喜びと達成感を感じられました。

日曜日には朝野球のチームに参加し、幅広い年齢の方々と試合をしています。私の二倍以上の年齢の方までも元気良く楽しそうにプレイする姿を見るのは尊敬と、私自身も趣味として長く続けていきたいとも思いました。

今後も公私共々頑張っていきたいです。

■第１２回うみねこ会開催案内

毎年恒例のシステム情報工学科同窓会「うみねこ会」を学園祭初日に開催します。今年で１１年目を迎え、毎年多くの教職員・卒業生が集まっています。卒業生なら誰でも参加できますので、是非御参加ください。詳細は後日うみねこ会ＷＥＢページなどでお知らせします。

開催日：平成２６年１０月１１日（土）〈学園祭１日目〉
参加予定教職員：武山泰、栗原伸夫、小坂谷壽一、藤岡与周、小玉成人、
伊藤智也、山日康之、他多数
申し込み先：katsuji@hi-tech.ac.jp
（うみねこ会会長　齊藤克治）
うみねこ会
URL：http://alumni.hi-tech.ac.jp/umineko/

MCS
マルマンコンピュータサービス株式会社
〒036-8051 青森県弘前市大字宮川３丁目5-2　TEL 0172-33-5166　FAX 0172-36-3362
■ 看護業務支援システム　ナース物語ナイスプランII
■ パソコン販売・設定、ホームページ製作・運用支援
■ おまかせバックアップサービス・他クラウドサービス
お気軽にご相談ください
マルマンコンピュータ　検索
http://www.mcs-kk.co.jp/

感性デザイン同窓会　活動報告

■新会長あいさつ

感性デザイン同窓会会長
石橋　宣貴
（平成二十年度卒業　第一期生）

感性デザイン同窓会は学部の特色でもあるように、様々な業種、職種の同窓生が集まる場です。色々な話が聞けることは勿論ですが、それが商談に繋がるような貴重な機会になるときもあります。仕事上の話だけでなく、生活していく上で活力となるような励まし合いの機会でもあるので、同窓生の集う会や学部同窓会行事の際には、できるだけ多くの方に集まっていただきたいと考えております。

私は自動車の営業・販売、損害保険や生命保険の募集活動や事故の対応などの仕事をしております。営業業務では、名前を覚えてもらうことが最も重要ですが、名刺を渡しただけで関係が途切れることが日常茶飯事です。そこで私は感性デザイン学部で学んだプレゼンテーションやデザインソフトの技術を利用して、自己PR用のチラシを作成し、それらを更にアレンジしてPRすることによって名前や人柄を覚えていただき、商談の役に立つことが多々あります。また、自動車販売業では広告も重要なツールですが、広告代理店に依頼すればデザイン料などのコストもかかります。しかし、自前でデザインして良いアイディアが生まれることもありますし、コスト削減にも繋がります。そのような面で、縁の下の力持ちになっていることを実感するこの頃です。これも感性デザイン学部を卒業していなければできなかったと感じています。以上のように、本学園で学べたことを感謝し、同窓会の行事にはできる限り参加するようにしております。全学の同窓会に関しても、小中高校の場合は、近い世代の交流が主ですが、大学の同窓会では幅広い世代の方々との交流を提供していただけることから、大変良い交流の機会です。

私は同窓会が自分の居場所のように感じています。色々な人に話を聞いていただきたいですし、失敗したことや成功した話などを、本気で仕事を頑張っている人、辛い中に居る人も、みんなが同窓会行事に来ていただき、そこでいろいろな交流を通して、励まし合ったりする機会になることを望んでいます。そのような機会となるように、今後ともみなさんのご協力をお願い致します。

■OB・OGだより

葛西幸恵さん
（平成二十三年度卒業・第四期生）
八戸印刷工業株式会社）

社会人になり三年目を迎えました。在学中はビジュアルデザインなど制作に関わる科目を特に興味を持って受講し、卒業研究も制作を選びました。縁あって現在の会社に入社してからは、企画・営業として制作の現場に携わらせていただいています。

憧れの制作に携わっているものの、実際は苦悩の連続です。学生の頃も、制作の際に構想の段階から頭を悩ませたものでしたが、今はそれに加えて、お客様の意図を正確に汲むために綿密なコミュニケーションを図らなければなりません。元来コミュニケーションに苦手意識を持っている私にとっては、いつも打ち合わせの場が越えなければならない難関です。また、作業時間は様々な事柄の関係により短期のものがほとんどであり、可能な限り計画的に手際よく進める必要があります。そのためには社内におけるコミュニケーションも必要になります。制作上のノウハウはもちろん必須ですが、円滑にお話ができるようになるためにも、もっと知見を広げ、思考力を養っていかなければならないと思うこの頃です。

お客様から逆にアドバイスやご指導をご頂戴することも多々あり、皆さんの優しさに泣きそうになります。人に恵まれるというのはとてもありがたく、幸せなことです。在学中にご迷惑をおとお掛けした先方や、お世話になったお客様方への感謝の気持ちを忘れず、日々精進したいと思います。

■新任教員のご紹介

小藤　一樹先生

今年度、感性デザイン学部では、新任の教員として小藤一樹先生をお迎えすることができました。先生は、都内の組織建築設計事務所で総合病院の設計に長年従事して来られました。先生が着任されたことで、感性デザイン学部にも更に新しい風が吹いています。先生とともに益々学部を盛り上げて参ります。

〈小藤先生より〉

卒業生の皆様、四月から八戸工業大学感性デザイン学科に着任しました小藤（こふじ）と申します。土木建築工学科も併任しております。

景勝地として知られる函館近郊の大沼国定公園で一九六七年に生まれました。高校時代は函館市内で寮生活をしておりました。室蘭工業大学建築工学科に進学し、大学院博士前期課程まで六年間を過ごしました。その後、恩師の勧めもあり上京し、超高層建築や再開発において実績のある総合組織設計事務所、株式会社日本設計に就職し、二十一年にわたり総合病院の設計に従事してまいりました。実務経験も二十年を超え、かねがね大学時代の恩師に憧れておりましたので、四十代半ばにして大学教員に転じました。故郷に近い八戸で仕事ができることに喜びを感じております。

室蘭工業大学においては、建築家でありガウディ研究の第一人者である入江正之先生（現、早稲田大学教授）のもとで、十九～二十世紀初頭に亘るスペイン・カタロニア建築思潮に関する研究を行っておりました。二年前から医療施設研究で名高い工学院大学大学院社会人博士後期課程に在籍しており、「外来患者のフローシミュレーションに関する研究」を行っております。日本設計におきましては、川崎市立川崎病院にはじまり、榊原記念病院、国立豊橋医療センター、三井記念病院、岡谷市民病院などの設計に携わってまいりました。また、設計コンペ・プロポーザルを任されることが多く、営業から設計案の立案、プレゼンテーションまで川上業務にも参画してまいりました。

教員としては実務経験を活かした講義内容とキャリア教育をしたいと思っております。研究面では八戸の医療施設にも協力をいただき進めてまいります。将来的には地域の医療施設の増改築に役立ちたいと考えております。学生の皆さんには、学生コンペなどに積極的に参加し、東京そして世界へダイレクトに挑戦していってもらいたいです。

小藤一樹先生
（函館山にて娘さんと）

三井記念病院
（小藤先生担当）

■おわりに（事務局より）

今年度は感性デザイン学部感性デザイン学科開設十周年の節目の年になります。また、昨年度末には感性デザインバン同窓会総会で新会長、新理事、代議員の改選と新メンバーが決定し、新たなスタートをしております。益々同窓会を盛り上げて参りますのでご協力のほど、よろしくお願い致します。

同窓会ニュース

梅津・村中両教授　名誉教授の称号授与

本年三月に退職されました梅津教授と村中教授のこれまでの功績に対して六月四日に名誉教授の称号が授与されました。（梅津教授は所用のため欠席でした。）

橋本元青森県教育庁が副学長に就任

五月より副学長として採用され、学校法人八戸工業大学の理事・評議員、総合企画室長を兼務することとなりました。これまで、高校までの初等中等教育を担当してきましたが、初心に立ち返り、法人や大学の経営に役立つよう努めてまいります。よろしくお願いします。

新任教職員紹介

平成二十六年度より、あらたに採用となりました教職員を紹介いたします。今後ともよろしくお願いします。

武藤　一夫
（工学部
機械情報
技術学科
准教授）

石山　俊彦
（工学部
電気電子
システム学科
教授）

西村　順子
（工学部
バイオ環境
工学科　准教授）

小藤　一樹
（感性デザイン学部
感性デザイン学科
准教授）

退職教職員

本年三月三十一日をもって、以下の教職員の方々が退職されました。長い間お疲れ様でした。

・退職教職員
社会連携学術推進室係長　鈴木　るり子
入試部入試課　掛端　久和子
事務部学事課　滝沢　真知子

川村　温美
（法人事務局
管財課　書記）

赤坂　友貴奈
（法人事務局
総務課　書記）

小林　南
（大学入試部
入試課　書記）

新山　隆文
（大学学務部
就職課　書記）

入学金の減免について

同窓生の子女・弟妹が入学した場合の入学金が全額免除となりました

八戸工業大学では、同窓生のご子女・弟妹を対象に入学金の一部減免措置を実施しております。

平成26年度入学生まで入学金の一部（175,000円）減免でしたが、平成27年度入学生より入学金全額（250,000円）を減免し、入学にかかる負担のさらなる軽減を図ることとなりました。

是非、この減免制度をご活用賜りますようお願い申し上げます。

対　象：八戸工業大学同窓生のご子女、弟妹
減免額：入学金全額（250,000円）を減免
お問い合わせ先：入試部入試課
電話　0178-25-8000（直通）

八戸工業大学ソフトボール部OB会 会報
《 第2号 》

発行元
〒031-8501 青森県八戸市妙字大開88-1
八戸工業大学機械系工学科事務室 内

八戸工業大学ソフトボール部OB会HP　http://hit-obsc.jimdo.com/

〔あいさつ　OB会長　永田敬久〕

皆さんお元気ですか。楽しかったOB会の一日。34年振りの後輩との待ちに待った再会、最高でした。そんな機会を皆さんにもと願っております。

〔ソフトボール部　顧問　小嶋高良〕

OBのみなさん、お変わりありませんか？昨年9月21日に行われたOB会では、母子と T シャツを着えたOBチームと試合用ユニフォームで迎え撃つ現役チームとの交流ながらも楽しく燃えた打者交最特別ルールによる熱のゲームに終き、夜のO時未を回ればすでに酔ともなく飲みはるアルコールの嗜いの勝利を目指したとても楽しい一時を持つことができました。今回参加できなかったOBのみなさんには、是非とも次回の楽しいOB会に参加いただきたいと思います。その日を楽しみにしております。八工大ソフトボール部永遠なり！

〔ソフトボール部　監督　坂本勝男〕

OB会報第2号の刊行、大変おめでとうございます。OBの皆様にはますますのご活躍のことと拝察いたします。さて、昨年(2013年)の9月には、第33回のOB会が開催され、楽しいひと時を過ごすことができました。少しずつですが参加者も増え、このような嬉びを感じております。また、当OB会のホームページ作成ひとりだけで頑張ると、一歩一歩ですが、OB会活動も緒に就き始めております。本年は午後、雲上の空を駆ける天馬のごとく、大きく飛躍していけるよう、皆様に祈りながら、部員と共にがんばってまいりたいと思っております。OBの皆様からのご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

平成25年9月21日　八戸工業大学ソフトボールグラウンド

ソフトボール部OB会より会報をいただきました。

☆同窓会報への広告募集について☆

同窓会では「同窓生の集う会」開催など各種事業を行っております。年に一度発行する同窓会報もその事業の一環であり、本会の活動内容や大学の近況等を発信するメディアとして、毎年多くの同窓生にご愛読されています。

一方で、会報発行に係る経費(印刷および発送費)は同窓生数の増加とともに増え続けています。そこで、この経費の一部に皆様からの広告費収入を充当することにより、会報発行に係る経費削減を図りたいと思います。

つきましては、この同窓会報を永続的に発行していくため、経費ご多端の折とは存じますが、同窓会報への広告掲載についてご協力いただきますようお願い申し上げます。

1. 同窓会報第２０号発行月　平成２６年８月中旬
2. 発行部数　約１３，０００部
3. 広告規格及び金額(カラー：白黒)
   1）１コマ(約６ｃｍ×４ｃｍ)　￥３０，０００
   2）２コマ(約１２ｃｍ×４ｃｍ)　￥６０，０００
   3）３コマ(約１８ｃｍ×４ｃｍ)　応相談
   ※　広告はページ下段部に３コマまで入れることができます。
4. 申込・問合せ先
八戸工業大学同窓会本部事務局
E-mail　dosokai@hi-tech.ac.jp
5. 申込期限
平成２６年６月１６日(月)
6. 広告原稿提出期限
平成２６年６月３０日(月)

学校法人
八戸工業大学
八戸工業大学　八戸工業大学第一高等学校
八戸工業大学第二高等学校　さくら幼稚園
〒039-1165　八戸市大字妙字大開 88-1
TEL　0178-25-3111（代表）

①　１コマ(約６ｃｍ×４ｃｍ)

地球温暖化対策・環境・エネルギーの
八戸工業大学
www.hi-tech.ac.jp/
〒039-1165　青森県八戸市大字妙字大開 88-1
TEL　0178-25-8000（入試課）
■　工学部
機械情報技術学科
電子知能システム学科
土木建築工学科
システム情報工学科
バイオ環境工学科
■　感性デザイン学部
感性デザイン学科

②　２コマ(約１２ｃｍ×４ｃｍ)

下段のお問い合せの文字の後ろの、赤いラインは消えますか？

同窓会事務局から

●ご家族の方へ

本誌同窓会報をご家族の方が見て同窓生本人が見ていないことがあるようです。お手数ですが、ご子女に了承いただき同封の表紙にご子女現住所等必要事項をご記入のうえ、フリーＦＡＸにてご送付下さい。

●同窓生の皆様へ

会報が届かない、見たことがないといった同窓生がおりましたら、本部事務局まで、電話またはメールで送付先（氏名、現住所、学籍番号または卒業年科）を連絡するようお伝え下さい。また現住所等変更になりましたら、速やかに同窓会事務局までご連絡下さるようお願いいたします。

同窓会事務局の連絡先（各種連絡先としてご利用下さい）

本部事務局（学務部学生課）
TEL.0178-25-8027　E-mail:dosokai@hi-tech.ac.jp

機械工学科・産業機械工学科・機械情報技術学科（機械情報技術学科事務室）
TEL.0178-25-8010　E-mail:dosokai-m@hi-tech.ac.jp

電気工学科・電気電子工学科・電子知能システム学科（電気電子システム学科事務室）
TEL.0178-25-8020　E-mail:dosokai-e@hi-tech.ac.jp

土木建築工学科・土木工学科・環境建設工学科
建築工学科（土木建築工学科同窓会事務局）
TEL.0178-25-8076　E-mail:dosokai-d@hi-tech.ac.jp

エネルギー工学科・生物環境化学工学科（バイオ環境工学科事務室）
TEL.0178-25-8050　E-mail:dosokai-P@hi-tech.ac.jp

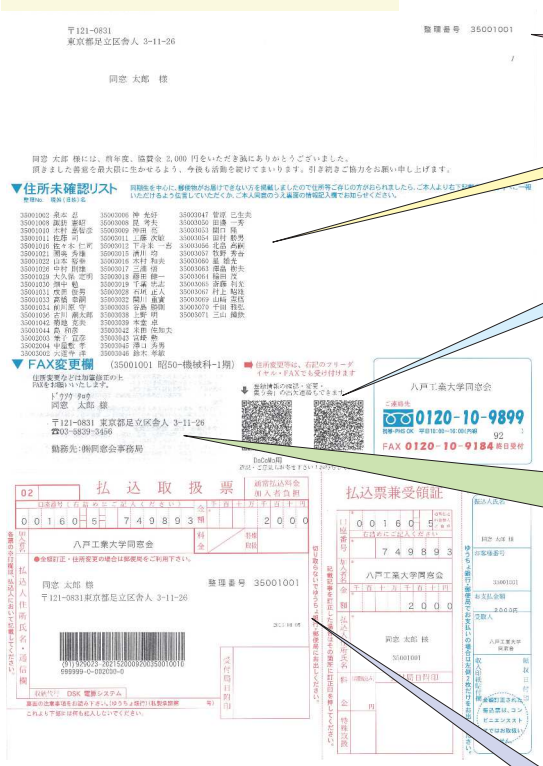
システム情報工学科（システム情報工学科事務室）
TEL.0178-25-8080　E-mail:dosokai-i@hi-tech.ac.jp

感性デザイン学科（感性デザイン学科事務室）
TEL.0178-25-8070　E-mail:dosokai-k@hi-tech.ac.jp

協賛金のお願い

平成14年３月に同窓会報第１号（創刊号）を発行以来、号を重ねて今回も約13,000名の会員にお届けすることができました。会報を通して、新たな会員相互の親交が生まれたというお話を伺います時、発行の継続が同窓会本来の目的に叶っていくものと考えます。今後、会報発行を維持していくための費用として、皆様には昨年から、協賛金のお願いをさせていただいております。次号もまた、皆様からの様々なご意見に耳を傾け、魅力ある紙面づくりに頑張ってまいります。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

同封物の見方



貴方の整理番号です。

現在、住所が判らず会報誌がお届けできない方々です。ご存知の方は、フリーダイヤルまたはフリーＦＡＸまでご本人よりご連絡いただけるようお伝えください。

携帯電話ＱＲコード

現在、同窓会でお預かりしている貴方の情報です。変更のある方は、いずれかをご利用下さい。
①フリーＦＡＸ
②ＱＲコード（携帯電話）
③フリーダイヤル
ご協力お願いします。

同窓会活動を永続的なものとするため、毎年、協賛金を募っております。何卒ご協力をお願いいたします。お近くの郵便局または、コンビニエンスストアをご利用下さい。

〈お問い合せ〉

フリーダイヤル　0120 -10-9899　（内線92）平日10:00～17:00
フリーＦＡＸ　0120 -10-9184　24時間受付